

授業科目名	看護学総合実習 I	担当教員	全教員		
開講年次及び学期	3年 後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	実習	時間数	45	単位数	1
授業の目的（概要）					
<p>医療の高度化に伴い多様化する患者のニーズに対して安全・安心な看護を提供するためには、エビデンスに基づくアセスメント、アセスメントに基づく観察や看護の一連のプロセスを理解し、実施する必要がある。このために、3年次までに修得した知識・技術、ならびに臨地実習での実践を統合し、グループでシミュレーターを用いたフィジカルアセスメントを実施し、必要な看護実践能力を養う。</p>					
学修成果（到達目標）					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例展開にあたり、必要な事例患者の情報収集を行い、応用的事例の健康状態をアセスメントできる。 2. 患者の看護問題を明確にし、個別性のある根拠に基づいた看護計画を立案できる。 3. 意図的にフィジカルアセスメントを実施し、看護計画を修正することができる。 4. 各領域別臨地実習および本実習を通して、看護者として、個別性のある看護実践に向けた自己の課題を明確にし、課題解決の方法が理解できる。 					
キーワード					
フィジカルアセスメント シミュレーター					
授業の進め方					
<p>各自で理解度チェック、事前課題（事例に関するアセスメント、看護問題の明確化、看護計画立案）を行った上で、学内演習を行う。事後課題（実施の評価、看護計画の修正）、レポート作成を経て、学内でまとめのカンファレンスを行う。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大によるフェーズが上がった場合は、学内での演習、まとめのカンファレンスはオンラインで行う。</p>					
成績評価の方法（合否基準）					
事前・事後課題（50%）、レポート・演習・まとめカンファレンスへの参加度（50%）で評価し、100点満点に換算した60点以上を合格とする。					
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材					
実習の手引きをmoodleに示す					
オフィスアワー					
<p>科目責任者：秋鹿都子 主に水曜日、メールでも連絡可（aika★）。その場合、学年と名前を明記してください。</p>					

モデル・コア・カリキュラムとの関連

D-1-2)多面的なアセスメントと対象者の経験や望み（意向）に沿ったニーズ把握

D-1-3)計画立案・実施

D-1-4)実施した看護の評価

D-2-2) 看護実践に共通する看護基本技術

準備学修に必要な学修の時間

各講義の中で指示します。

授業計画

	11月	1-2月	2月	3月								
	オンデマンド		28	1	2	3	4	7	8	9	10	11
オリエンテーション	◎											
演習前の課題		←→										
フィジカルアセスメント演習			←→									
演習後の課題 (演習後1週間以内に提出)			←→									
まとめのカンファレンス									←→			

フィジカルアセスメント演習

	9:30~10:30	11:00~12:00	14:00~15:00
2月 28 日(月)	1G	2G	3G
3月 1 日(火)	4G	5G	6G
3月 2 日(水)	7G	8G	9G